

# ブラジル連邦共和国

(Federative Republic of Brazil)

平成24年3月  
外務省中南米局

## 基礎データ

- 国土: 851.2万km<sup>2</sup>(日本の22.5倍)
- 人口: 約1.91億人(10年国勢調査。欧州系48%/混血43%/その他)
- 首都: ブラジリア ●言語: ポルトガル語
- 元首: ジルマ・ヴァナ・ルセーフ大統領(2011年1月~14年末。任期4年。初の女性大統領。)
- GDP: 2兆898億ドル。一人当たりGDPは10,816ドル(10年。IMF-World Economic Outlook)
- 通貨: レアル(1米ドル=約1.78レアル。2012年1月現在。)

## 特徴

- ①広大な国土に、アマゾン地域の熱帯雨林地域から南部の温帯湿潤気候まで、様々な気候帯を有する。
- ②20年にわたる軍事政権の後、1985年に民政移管。政治体制は連邦共和制。大統領及び二院制の議会を有する。
- ③経済成長率は、2009年-0.6%、2010年7.5%、2011年2.9%(IMF)  
豊富な資源や食料を有するほか、航空機産業まで有する新興工業国。成長の加速や、発展に追いつかないインフラの充実等が課題。
- ④途上国の結束強化、国連改革、WTO交渉等の多国間外交関係を重視。最近は先進国との関係も重視し、対米関係は良好。
- ⑤移民国家特有の人種的文化的多様性を有する。



## 日本との関係

- ①外交関係樹立: 1895年  
(2008年は日本人ブラジル移住百周年・日伯交流年として祝賀。)
- ②在留邦人(10年): 58,374人 なお、在住日系人約150万人(推定)、在日ブラジル人(10年)約23万人
- ③対日貿易(10年。財務省貿易統計)
  - ・日本への輸出: 約8,600億円(対前年比約45%増。主要品目: 鶏肉, コーヒー, 鉄鉱石, アルミ, 大豆等)
  - ・日本からの輸入: 約5,430億円(対前年比約37%増。主要品目: 輸送機械(自動車等), コンピューター部品等)
  - ・進出企業数: 約300社
  - ・主な投資プロジェクト: 60~70年代に官民大型プロジェクトを実施(製鉄, パルプ, 鉄鉱石, アルミなど)。最近は、鉄鋼, 自動車, 食品, バイオ燃料などの分野で日本からの投資が活発化(2008年日本からの直接投資が前年比8倍強の41億ドルを記録するなど, 好調)。
- ④経済協力: 環境, 工業, 農業, 保健及び社会開発関連に重点。
  - ・実績(09年) 有償資金協力 206.34億円 無償資金協力 3.34億円 技術協力 19.93億円
- ⑤最近の要人往来 [往訪] [来訪]
  - (閣僚以上) 小泉総理(04年9月) アモリン外相(外賓)(04年3月)
  - 中川農水大臣(06年5月) ルーラ大統領(公実賓)(05年5月)
  - 竹中総務大臣(06年6月) アモリン外相, パロッシ大蔵相, ロドリゲス農相,
  - 中川農水大臣(06年9月) フルラン開発商工相, ルセーフ鉱業エネルギー相, ギア観光相,
  - 松岡農水大臣(07年5月) メイレレス中央銀行総裁兼国務相(上記大統領訪日に同行)
  - 菅総務大臣(07年8月) アモリン外相, フルラン開発商工相, コスタ通信相,
  - 麻生外務大臣(07年8月) アダッジ教育相(06年4月)
  - 若林農水大臣(08年5月) ピント農相(07年3月)
  - 皇太子殿下(08年6月) スプリシ観光大臣(07年9月)
  - 甘利経産大臣(08年6月) キナリア下院議長(08年1月)
  - 小沢環境大臣(10年7月) ルセーフ文官長(外賓)(08年4月)
  - 麻生元総理(11年1月) ルーラ大統領, アモリン外相(08年7月・北海道洞爺湖サミット)
  - (大統領就任式特派大使) レゼンデ科学技術相(09年10月)
  - 松本外務大臣(11年6月) ガバス社会保障相, ルピ労働相(10年7月)
  - パトリオッタ外相(11年4月)